

令和元年度低侵襲手術トレーニングプログラム報告会及び手術手技向上研修事業特別講演会

日時：令和元年11月19日(火)17:30～19:00
場所：藤井節郎記念ホール（徳島大学蔵本キャンパス構内）

<特別講演会>

講師：鈴木 崇根 先生
（千葉大学大学院医学研究院環境生命医学 講師）

<報告会>

報告者：岩田 貴 先生
（徳島大学大学院医歯薬学研究部医療教育開発センター 副センター長）
後東 知宏 先生
（徳島大学病院クリニカルアナトミー教育・研究センター 副センター長）

参加者：54人

主催：徳島大学医学部、歯学部、大学院医歯薬学研究部、徳島大学病院

共催：徳島県地域医療支援センター



【実施概要】

文部科学省令和元年度運営費交付金（機能強化経費）第3期中期目標期間における重点的取組として、「クリニカルアナトミーラボ」と「スキルス・ラボ」を活用した卒前卒後一貫教育トレーニングプログラム“未固定遺体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラムの構築”の報告会、及び厚生労働省“実践的な手術手技向上研修事業”による特別講演会を開催しました。

特別講演会では、千葉大学大学院医学研究院環境生命医学 講師の鈴木崇根先生に「Cadaver Labこれからの方向性～トレーニングとR&D～」と題してご講演を賜りました。

報告会では実績報告として、徳島大学大学院医歯薬学研究部医療教育開発センター副センター長 岩田 貴先生と徳島大学病院クリニカルアナトミー教育・研究センター副センター長 後東知宏先生により、事業成果と今後の取り組みについて報告され、特別講演及び報告会では、活発な質疑応答がありました。



鈴木先生による特別講演会



参加者による鈴木先生への質問の様子



岩田先生による実績報告



後東先生による実績報告



野地学長

香美病院長

金山センター長